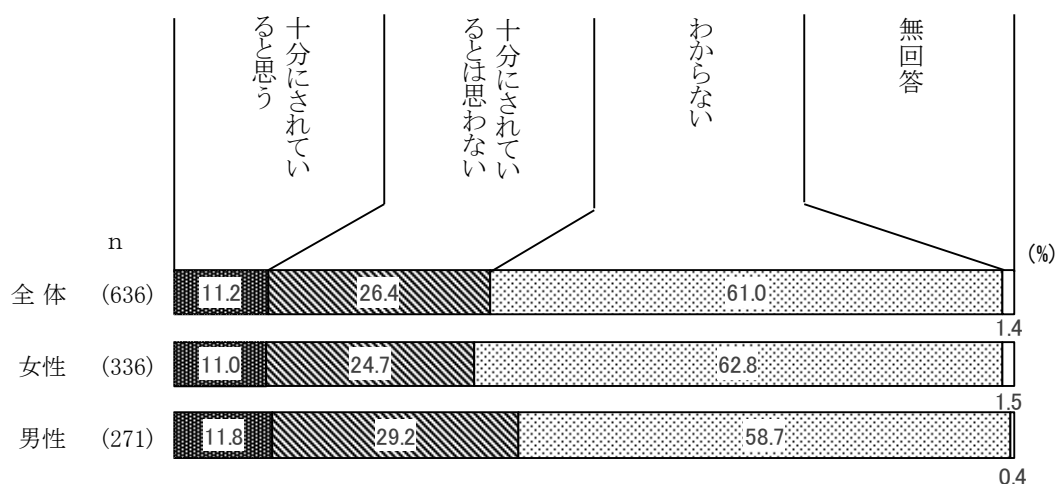


9. 防災対策について

(1) 男女共同参画の視点に立った取組の充足度[新規]

問3 2. あなたの職場や自治会・町内会などの地域における防災活動について、男女共同参画の視点に立った取組が十分にされていると思いますか。あてはまる番号ひとつに○をつけてください。



男女共同参画の視点に立った取組の充足度について、「十分にされていると思う」は11.2%、「十分にされているとは思わない」は26.4%、「わからない」は61.0%となっている。

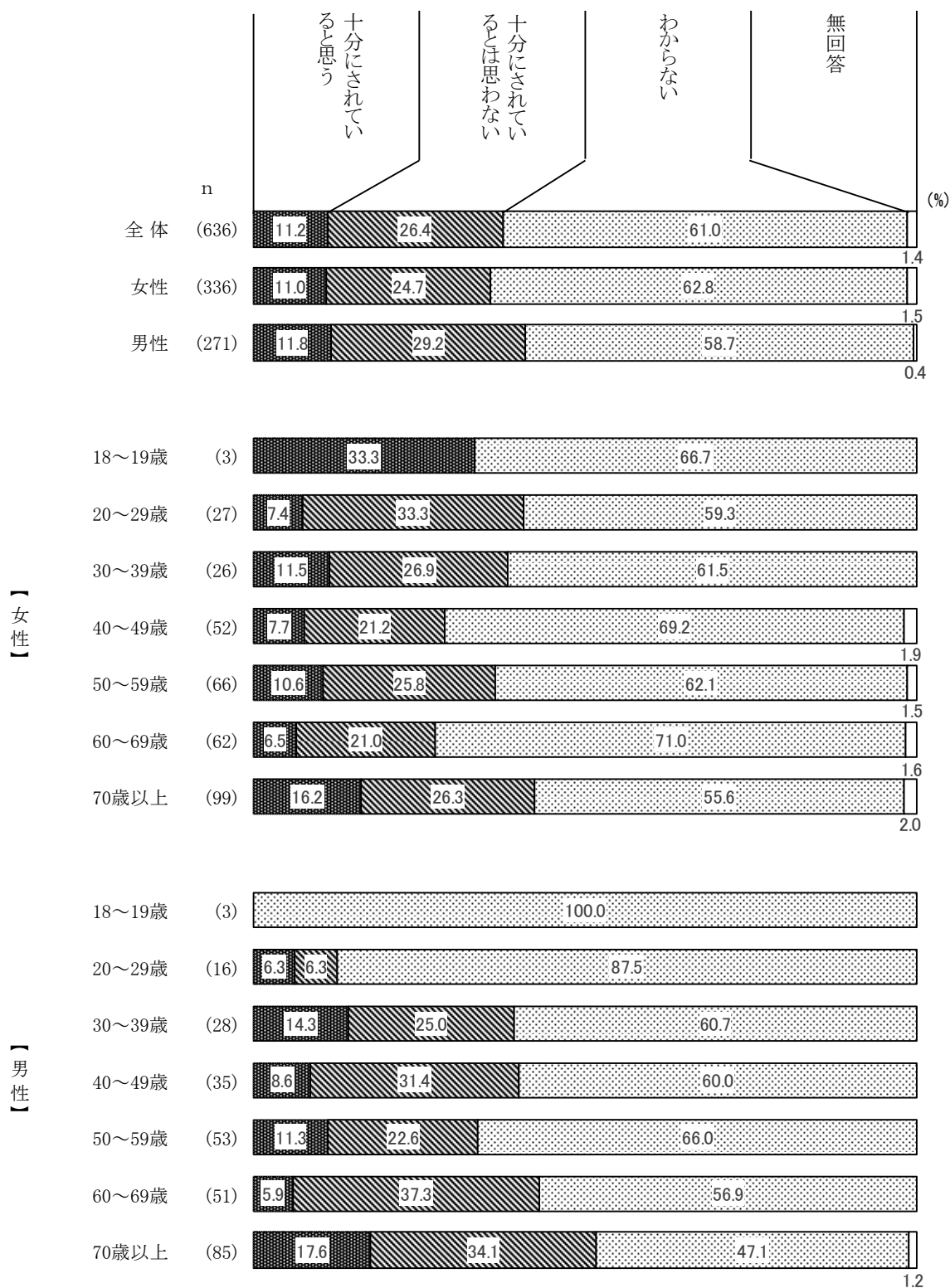
性別にみると、「十分にされているとは思わない」と答えた男性は女性よりも4.5ポイント高くなっている。

調査の結果／9. 防災対策について

(1) 男女共同参画の視点に立った取組の充足度

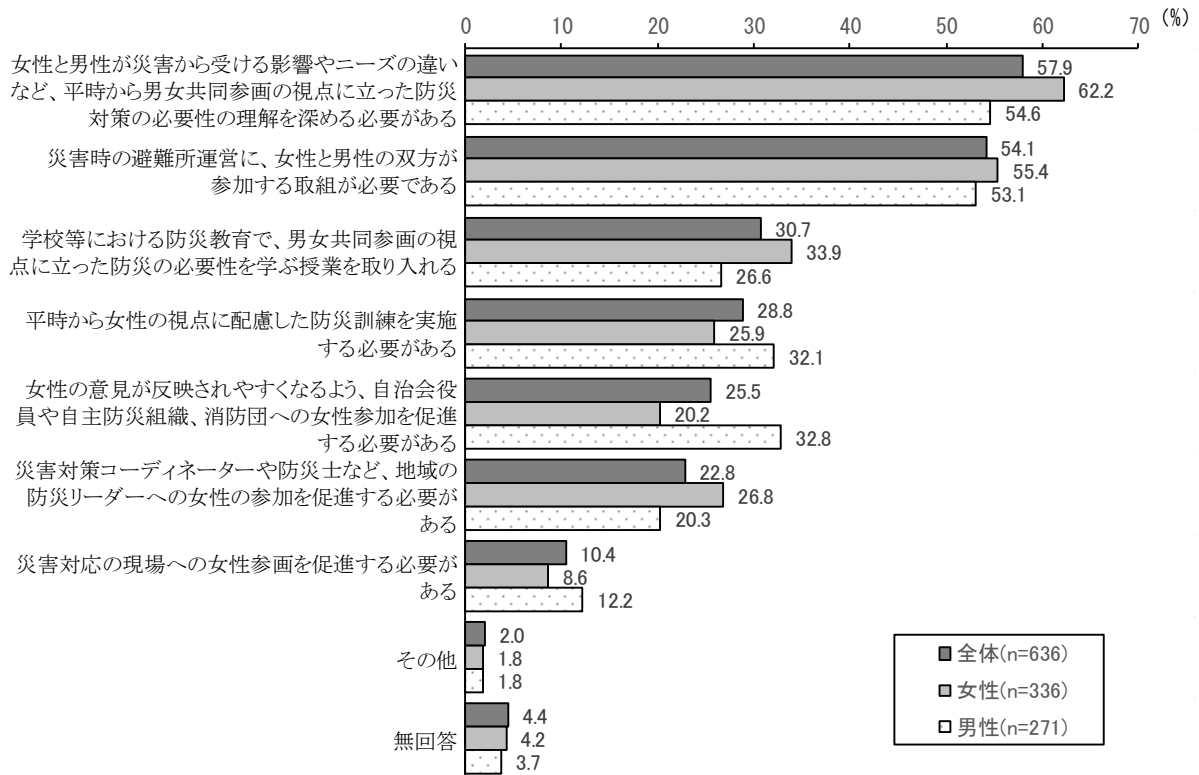
【性・年齢別】

「十分にされていると思う」と答えた割合が最も高いのは、男性70歳以上で17.6%となっている。
 「十分にされているとは思わない」と答えた割合が最も高いのは、男性60～69歳で37.3%となっている。



(2) 男女共同参画の視点に立った防災対策の推進に必要なこと[新規]

問3 3. 今後、男女共同参画の視点に立った防災対策をより推進させるために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる（優先度が高い）と思う番号3つまでに○をつけてください。



男女共同参画の視点に立った防災対策の推進に必要なことで割合が高いのは、「女性と男性が災害から受ける影響やニーズの違いなど、平時から男女共同参画の視点に立った防災対策の必要性の理解を深める必要がある」（57.9%）、「災害時の避難所運営に、女性と男性の双方が参加する取組が必要である」（54.1%）で、5割を超えている。

性別にみると、女性が男性よりも割合が高いのは、「女性と男性が災害から受ける影響やニーズの違いなど、平時から男女共同参画の視点に立った防災対策の必要性の理解を深める必要がある」で7.6ポイント、「学校等における防災教育で、男女共同参画の視点に立った防災の必要性を学ぶ授業を取り入れる」で7.3ポイント、それぞれ高くなっている。

男性が女性よりも割合が高いのは、「女性の意見が反映されやすくなるよう、自治会役員や自主防災組織、消防団への女性参加を促進する必要がある」で12.6ポイント高くなっている。

調査の結果／9. 防災対策について

(2) 男女共同参画の視点に立った防災対策の推進に必要なこと

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、「女性と男性が災害から受ける影響やニーズの違いなど、平時から男女共同参画の視点に立った防災対策の必要性の理解を深める必要がある」は、女性20～29歳が9割を超え、女性50～59歳が7割台半ばと高くなっている。

